

鳴海周平の

# ぶらり旅

鹿児島県編

2020年5月に予定していた

「なるみんと行く！鹿児島県指宿・霧島ヒーリングツアー」。

「ご縁のあるタイミング」が来年で以降へと持ち越しになったことから、下見で訪ねたスポットを先行してご紹介します。

今回の旅のテーマは「地球の脈動を感じる」。2019年に訪れた高千穂・阿蘇から続く地脈エネルギーにつながる旅です。まずは、大地のエネルギーを直に体感できるエネルギースポット・桜島に渡ってみました。

桜島にある溶岩なぎさ公園の足湯は、全長なんと100m！  
かけ流しの天然温泉に浸っていると、まるで目の前の活火山とひとつながりになったかのような感覚になります。

## なるみんのせっかくグルメ!! (鹿児島スイーツ編)



◀2本の竹串を、武士が2本の刀を差している姿に見立てたという「両棒餅」。ジャンボ鶴田さんの好物という由来ではないようです。



◀木灰汁で煮込んだ餅のような「あく巻き」は、きな粉や黒砂糖をつけて食べます。クセがすごい!けど、それがまた美味しい!!



◀鹿児島といえば「白熊」というくらい有名なアイス。上から見ると白熊に似ているそうです…じゃなくて、似ています!(笑)

そのエネルギーのつながりを感じながら、桜島までフェリーに乗って約15分の船旅。鹿児島市内から眺めても迫力がありますが、じっさいに渡ってみると、そのエネルギーの大きさに圧倒されます。地面をはっきり感じられるというか、足がひつつく感じと

いうか、わかりやすく言うところ「地脈の通り道っぽいエネルギー」(…よけいわかりづらい?)  
まあ、とにかく凄いです(笑)人間の身体に「経絡」という気の通り道や「経穴」というツボがあるように、地球にも同じようなエネルギーの通り道や要所が



仙巖園の大名庭園は、目の前の桜島を築山に、錦江湾を池に見立てた壮大なスケール。徳川将軍家に嫁いだ篤姫も足を運んだそうです。

「10分位経ったら出て下さいいねー」  
(係員さん)  
「たった10分?…せっかくなんで、少し長めに埋まってます」  
…暑さに耐えられず、8分で砂を脱出(笑)でも、とっても気持ちよかったです。  
さあ、皆さんは何分耐えられるか!(耐えちゃダメですけど笑)  
鹿児島ヒーリングツアーは2022年開催の予定です。

あるんですね。電車の路線に例えると、線路が経絡で、駅が経穴。エネルギーの要所は「パワースポット」と呼ばれる場所にあたることが多いようです。  
桜島からつながるエネルギーの脈を感じながら、砂蒸し温泉で有名な指宿へ。南北1kmにわたって海岸の地下を温泉が流れているという珍しい場所です。

鹿児島市内から桜島を眺める絶景ポイントにある仙巖園は薩摩藩主・島津家の別邸として1658年に建てられました。敷地内には、島津家の歴史を今に伝える御殿や、世界遺産にも登録されている反射炉(鉄を溶かす炉)跡など見どころ満載!見事な庭園から望む桜島からは、力強いエネルギーが伝わってきます。



じっさいに桜島へ渡ってみると、その迫力はさらにアップ!地から湧き上がってくるような力強いエネルギーを体感できます。



JR日本最南端の西大山駅(写真左)や、乙姫伝説の残る電宮神社(写真右)から眺める開聞岳。ヒーリングツアーでは、その美しさから薩摩富士とも称される眺めを楽しみながら、砂蒸し温泉で有名な指宿にも訪れる予定です。



薩摩半島最南端に突き出した景勝地。鹿児島にあるのに長崎鼻。浦島太郎が電宮へ旅立った場所ともいわれています。



長崎島へ向かう途中にあるお土産屋さん。奥さまのご機嫌が早く良くなりますようお祈り申し上げます。



桜島の景観条例に合わせて、コンビニの外観も茶色。「茶色(チャイロ)ーソンとか「茶(チャ)ミマ」と呼ばれているとか。